

富士見を愛した文人・政治家ゆかりの別荘地や街道を結ぶ

歴史ウォーキング



分水の森 (渡辺別荘)
 富士見最古の別荘。明治40年(1907年)、宮内大臣の渡辺千秋が葛木宿の本陣を移築して分水荘とする。尾崎喜八が戦後の7年間を過ごした。

旧帰去来荘 (旧小川別荘)
 明治43年(1910年)、文部大臣・司法大臣・鉄道大臣を歴任した、富士見出身の小川平吉が建てた別荘。田山花袋、竹久夢二など多くの文人や政治家が滞在した。元首相の宮澤喜一は平吉の孫にあたり、夏をここで過ごしている。富士見の別荘地の先駆けである。

「アララギ」の歌人伊藤左千夫は帰去来荘で富士見公園の構想を練った。

大正11年(1922年)、小川平吉の勧めで犬養毅が帰去来荘を訪れ、隣接する朝鮮別荘に一泊する。犬養毅は富士見の純朴な風物が大いに気に入り、この地に別荘を建てることを決断する。

富士見公園
 原の茶屋に「アララギ」の歌人が集う。明治44年(1911年)大自然を永遠にと「アララギ」を記念して自然公園が完成する。斎藤茂吉、伊藤左千夫、島木赤彦らの歌碑が建つ。

白林荘
 大正13年(1924年)白林荘の母屋が完成。以後、犬養毅を慕う多くの人々が訪れ、富士見ヶ丘に幾つもの別荘が建てられていく。犬養毅は地元の住民たちと広く親しく交流した。昭和7年(1932年)5.15事件で凶弾に倒れるまで、犬養毅は多くの日々をここで過ごした。その後、荒廃した白林荘は山縣勝美により修復保存され、現在に至る。

注意：別荘は私有地です。立ち入らないでください。

- 分水の森コース (2Km 30分)
- 白林荘コース (1.1Km 20分)
- 旧帰去来荘コース (1.3Km 20分)
- 富士見公園、原の茶屋、甲州街道コース (1.6Km 25分)

○ 注目
 ▲ 眺望
 ● 樹木
 ✿ 花
 ♣ 紅葉